

J R 伯備線および伯耆大山駅の 鉄道貨物輸送に関する現状と課題について 国交省鉄道局との意見交換実現！



JR総連とJR貨物労組は8月3日、JR伯備線および伯耆大山駅の鉄道貨物輸送に関する現状と課題について、衆議院議員・谷田川元氏（JR総連推薦議員懇談会所属）のご協力のもと、国交省鉄道局との意見交換をおこないました。意見交換には、JR総連より小林政策・政治部長、伊藤広報部長、JR貨物労組より西本執行副委員長、森川業務部長が出席し、伯備線における鉄道貨物輸送の維持や、EF64形式機関車の老朽化取替に係る費用負担などについて訴えました。



ご尽力いただいた谷田川元衆議院議員（真中）

これら要請に対し鉄道局からは、「今後も伯備線における鉄道貨物輸送は維持していくことを考えている」「自然災害による線路寸断が頻発し、荷主離れが進んでいることについて危機感を持っている。国交省としても打開していきたい」「今回いただいた要望について持ち帰り国土交通大臣にも伝えていきたい」など、大きな前進となりました。